

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	edu.base宇宿(児童発達支援)			(R6.4.1～含む)
○保護者評価実施期間	R7年 1月 15日			～ 対象者なし
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日			～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援に努めている。	・一人ひとりをしっかりと観察し、どのような特性があるか、それに対し、どのような場面が想定されるかを考えながら、支援内容に繋げるようにしている。	・園やご家庭の様子もお聞きしながら、子どもたちの今後を予測し、今どのような支援が必要なのをしっかりと考えながら支援に繋げていく。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解をしていけるよう努めている。	・日々の記録にプラスして、良い姿や、課題があった場面など連絡ツールを活用し、お伝えすることを心がけている。 ・保護者様からご相談があった場合には職員間でも伝え合いながら、情報共有し支援にあたるようにしている。	・送迎の際に園に送る場合は対面する機会が少なくなるため、定期的にご連絡を取らせて頂きながら、お子様の状況を共通理解していけるよう努めている。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせるよう環境の整備を行い、安心して通所して頂けるよう努めている。	・日々活動終了後に事業所内の清掃を行い、清潔に保つことを心がけている。また、幼児にとって危険な箇所はないか、日頃から意識して環境調整を行うようにしている。	・日々事業所内の安全点検を意識しながら、常に清潔で安全な空間を保てるよう引き続き努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けるなどの機会も設けられていない。	・事業所移転により、環境の整備が整わなかったため、保護者会の開催時期が遅れてしまっている。 ・放課後等デイサービスではイベントを行っていたが、中高生向けの運動等が多かったため、幼児の満足いく行事の選定が難しかった。	・保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けていく。 ・幼児も参加して楽しめるイベントを考え、きょうだいも参加できるように開催を工夫していく。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定したものをしっかりと保護者に周知・説明できていなかった。また避難訓練の様子も伝えられていなかった。	・契約の際にご説明を行っているが、十分な説明ではないと改めて感じた。 ・事業所移転により、新しい施設での緊急時を予測した訓練が十分に行われていなかった。	・改めてマニュアル等の説明を保護者会等で行い、周知できるようにしていく。 ・様々な緊急時を予測し、定期的に避難訓練を行っていく。またその様子を保護者様にもお伝えしていく。
3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が十分に行えていない。	・家庭でのご様子をお聞きし、面談やモニタリングでは接し方や支援の方法など共有するように努めているが、ご家族が参加できる研修の機会は設けることができていない。また、情報提供も十分ではないと感じる。	・ご家族の対応の観点に立ち、細めな情報提供を行い一緒に考えていけるよう努めていく。また、今後研修を行う機会を設けていきたい。 ・家族支援に対しての職員一人一人のスキルアップを心がけていく。